

第五回世界武徳祭ならびに 第五十四回全国武徳祭開会式に参加して

日本古武道 至誠館 渡邊 祥正

平成二十八年四月二十八日、青葉繁れる好季節美しい古都の町並みが広がる京都東山に佇むウエスティン都ホテルに於いて第五回世界武徳祭ならびに第五十四回全国武徳祭開会式が世界二十一カ国から七百有余名の参加者を迎えて盛大に開催されました。

歴史と伝統の大日本武徳会は、崇高なる武士道精神を培う国内外の多くの武道家の歩みによって伝統武道の心と技を受け継ぎ守り継ぎ、数限りない人々の篤い祈りとともに今日まで継承されてまいりました。これまでの地道な活動の意義と効果が広く認知され、このたび世界武徳祭の開催にあたり英国エリザベス女王陛下、アメリカ合衆国大統領バラク・オバマ閣下をはじめとする世界各国の国賓公賓から数多くの御祝福のメッセージを賜りました。

我が日本国におきましても重要な大会であると国会で承認され、殊に開会式には畏くも遙々皇室より三笠宮の彬子女王殿下の御臨席を仰ぎ、日本国内閣総理大臣安倍晋三様をはじめとする多くの方々から御祝辞を賜りました。女王殿下をはじめ御来賓の方々を多くの皆様と共に迎えしお仕え出来ましたことは、奉賛の誠心によるものところのない喜びでございました。

式典では主催者、御来賓の挨拶に続き、選手宣誓、主催者側から大

日本武徳会の運営発展に尽力し、伝統武道の普及に貢献した功労者が表彰されました。

私は、千二百年以前（平安前期）創建の社寺に仕える社家に生を受けました。創建以来、神仏への祈りとともに御国の隆昌は、皇室の繁栄のもとにあると信じ、代々皇室の弥栄を祈り継ぎ語り継いでまいりました。私どもにとりまして女王殿下に御参向賜り拝調叶いますことは、現人神今上天皇陛下への拝謁と同様であり、神明に御奉拝申し上げますことと同様でございます。

この開会式において凶らずも女王殿下の御案内役と選手宣誓の大役を仰せつかりましたことは、誠に恐懼感激の極み、この上ない榮譽を得られ、喜びと重責に身の引き締まる思いでお受け致しました。畏くも女王殿下への拝謁の御許しは、望んでも叶えられることではなく、ただただ御縁に結ばれて御奉仕させて戴けた有り難さに感慨無量でございました。特別な時間を大日本武徳会の将来を担う世界各国の皆様と宗教、信条、国籍、世代を越えて交流させて戴けましたことは、かけがえのない経験となりました。

女王殿下御前での宣誓の言葉を考えるにあたり、御神前での祝詞奏上と分けて考えることが出来ず、武道に対する思いを言葉で表すこと